

# 令和4年度普及活動アルバム

木曽農業農村支援センター

～木曽らしく、農業の個性を高め、伝統食で人をつなぐ～

を合言葉に、農業者に寄り添い、町村・JA等関係機関の皆様方と連携しながら普及活動を展開してまいりました。

「御嶽はくさい」産地の再構築を重点課題とし、多様な担い手の育成、木曽ならではの農畜産物の生産振興、環境に配慮した農業生産の推進など、多くの普及活動課題で一定の成果を得ることができましたので、その一端を紹介させていただきます。



## 【7月】【重点活動】

### ◆「御嶽はくさい」産地の再構築

〈減収要因となる病害虫の対策〉（クロープナビを用いた感染情報リアルタイム提供に係る現地検討会の開催）

「ハクサイ炭疽病」防除法の確立のため、木曽町開田高原にて、町村・JAなど関係者で現地検討を行いました。

リアルタイム感染情報はホームページやメールで延べ45回提供しました。



## 【通年】

### ◆農ある暮らしをしてみませんか！

（農業入門講座の開催）

定年退職者や子育てがひと段落された方などを対象に、農業入門講座を開催しました。農村生活マイスターの野口さんを講師に迎え10名が受講されました。

直売所やJAへの出荷者がひとりでも多く増えることを期待しています。





【通年】

◆新規就農者へ重点的に個別支援を実施

木曽地域には毎年1～3名程度新規に農業を始める方がいます。国や県の研修制度を利用して就農した方へは特に重点対象者として所内で連携して支援しています。定期的な個別巡回等で状況確認を行い、課題への早期の取組みを行う事で、生産量が確保され、経営が早期に安定できるよう支援します。



【12月】

◆木曽の伝統食すんき文化の継承支援

（小学校等におけるすんきづくり研修会の開催）

木曽地域の伝統食であるすんき文化の継承をねらいに、農村生活マイスターと連携し上松町の小学校で原料の赤かぶ栽培とすんき加工体験研修会を開催しました。

伝統食文化への子供たちの理解が醸成されることが期待されます。



【2月】

◆スマート農業の推進

（ICT活用による繁殖和牛分娩事故防止技術の検討と普及推進）

繁殖和牛経営での分娩事故防止と監視作業の省力化を目的に、スマート農業機械の効果を検討し「繁殖和牛技術研修会」で生産者・関係者に対して情報提供しました。木曽地域では、13戸において導入が始まっており効果が現れています。